



ヘリコバクター・ピロリ抗体検査 1,800円（税込）

胃がんの98%はピロリ菌が原因

■ 次のような方には検査をおすすめします

- 胃がん家系で心配されている方
- 胃炎や胃潰瘍・十二指腸潰瘍を起こしやすい方
- 胃がん検診の適応年齢でない50歳未満の方
- 両親のどちらかがピロリ菌に感染したことがある方

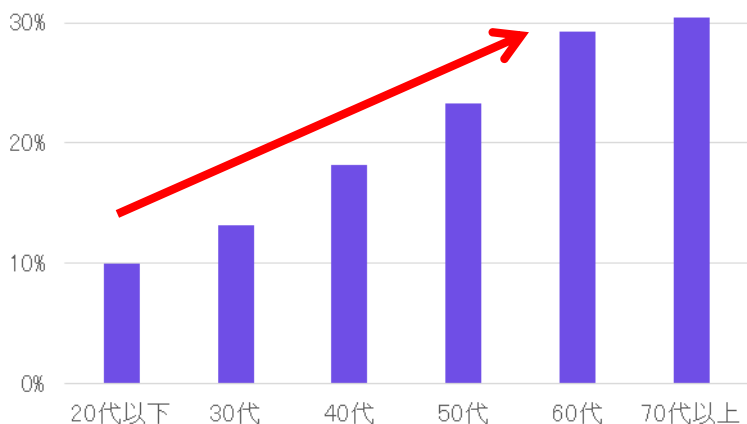
日本でピロリ菌に感染している人は、約6000万人といわれています。ピロリ菌は、胃がんの最大原因で、胃潰瘍や十二指腸潰瘍なども引き起こすことがわかっています。当会では受診者の約22%の方が陽性となっています。

※注意：除菌判定に抗体検査は推奨されていません。
呼気試験や抗原検査をお勧めします。

■ 年齢が高い人ほど要注意

年代が高くなるにつれて
感染率も高くなっています。

H29年度当会受診データ年代別HP陽性率
(ピロリ菌除菌者含む)



■ ピロリ菌陽性と判定されたら

早めに消化器内科での除菌をおすすめします。

胃内視鏡の検査で以下の疾患と確定診断された方は、健康保険を利用した除菌治療が可能です。

- ①胃潰瘍・十二指腸潰瘍
- ②胃MALTリンパ腫
- ③特発性血小板減少性紫斑病
- ④早期胃がんに対する内視鏡的治療後胃
- ⑤ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎、萎縮性胃炎

※上記以外の方は、原則として自費での除菌となりますので、ご注意ください。